

# 広島県中小企業団体中央会 2019年7月分情報連絡一覧表

## 食料品

### ●食料品

#### 中国醤油醸造協同組合

7月の出荷量は前月比11.4%増加、前年同月比1.3%減少となり、売上高は前月比10.1%増加、前年同月比3.7%減少となった。

#### 広島県東部菓子商工業協同組合

地方発送のある企業は運賃負担の大きさに疲弊している。

## 繊維・同製品

### ●衣服・その他の繊維製品

#### 広島県アパレル工業組合

天候不順により空調服の販売が芳しくない。

## 木材・木製品

### ●木材・木製品

#### 広島県北部国産材加工協同組合

雨の少ない梅雨であったが、この時期に伐った丸太は虫が入りやすく在庫に不利なため製材工場は仕入を調整している。

米中貿易摩擦の影響で、世界的な景気低迷が懸念される中、物流梱包関係の動きが悪化している。供給増、需要減のため、価格相場は弱含みしている。

#### 広島県木材協同組合連合会

##### <全国>

- ・令和元年6月の全国の住宅着工戸数は81,541戸で前年同月比0.3%増加
- ・季節調整済年率換算値では92.2万戸(前月比2.4%増加)
- ・利用関係別では、持家は28,394戸で前年同月比12.9%増加、貸家は30,645戸で前年同月比12.2%減少
- ・分譲住宅は21,870戸で前年同月比7.8%増加
- ・木造住宅着工は48,071戸で前年同月比3.9%増加
- ・住宅着工の動向については、需要期と消費税増税の駆け込み需要が重なり、前年同月比で3ヵ月ぶりの増加

##### <広島>

- ・広島県内の6月の着工戸数は2,251戸で前年比64.1%増加、このうち持家は549戸で28.6%増加、貸家は799戸で26.6%増加、分譲は861戸で191.9%増加
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で2ヵ月振りの増加となった
- ・地域別では広島市が着工戸数893戸で49.8%増加、福山市が452戸で92.3%増加、廿日市市は62戸で87.9%増加、尾道市は56戸で64.7%増加、三原市は39戸で44.4%増加、大竹市は32戸で255.6%増加の一方、呉市は64戸で9.9%減少、東広島市136戸で27.7%減少と、先行きが見通しにくいとの声もあるが、プレカット工場の稼働も順調で繁忙感もあり、全体的に高い水準を保っている。昨年の平成30年7月豪雨の被災地復興や非住宅物件、消費税増税の駆け込み等により徐々に発注も増えている。しかし、依然職人不足が深刻であり、消費税率引き上げ後の見通しが不透明な中、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

#### 福山木材協同組合

消費税の駆け込み需要により景況感が好転している気もするが、定かではない。

## 印刷

### ●出版・印刷・同関連

#### 広島県印刷工業組合

業況は少しずつ厳しさを増している。生産性の向上や無駄の排除などの見直しを徹底していきたい。

## 化学・ゴム

### ●工業用ゴム製品

#### 中国ゴム工業協同組合

今年の第4四半期(1月～3月)は引き続き多忙であったが、今月は、米中貿易摩擦による中国経済の停滞感による影響が少しずつ表れており、繁忙感が若干薄れつつある。求人もストップしている。

10月からの消費税率引上げによる駆け込み需要もあまり期待出来ない。原材料価格もOPEC減産を受け価格が再び上昇しつつある。消費税率引き上げ後の景気の後退感がどの程度になるか、不透明感が強まっている。日本、韓国間の紛争も心配している。

### ●プラスチック製品製造業

#### 広島県プラスチック工業会

自動車関連の売上は順調に推移している。全体的に売上は現状を維持している。前年比は平成30年西日本豪雨によるマツダ等の減産の影響があったためである。

今年是不安定要因が多く、先行きが懸念される。

## 窯業・土石製品

### ●窯業・土石製品

#### 広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

31年7月 3,181m<sup>3</sup> (前年比30.26%増加)

31年6月 3,041m<sup>3</sup>

30年7月 2,442m<sup>3</sup>

## 一般機器

### ●一般機械器具

#### 広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、フル稼働の状況が継続しており、売上は前月比34.3%増加、前年同月比22.3%増加となった。

業界は、米中関係やイラン情勢、中国経済の回復動向を注視している。

#### 出島工業会協同組合

廃業に伴い組合員が1社脱退した。

組合の課題としては引き続き役員の高齢化と世代交代である。

## 電気機器

### ●電気機械器具

#### 広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月は輸出が30%程度減少したため、前月比3.7%減少、前年同月比10.4%減少となった。

最低賃金の上昇は経営を圧迫している。残業規制への対応に苦慮しそうである。

## 輸送用機器

### ●輸送用機械器具（自動車）

#### 東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。

・7月の国内自動車販売台数は全需が459千台、前年同月比4.1%増加と2ヶ月振りの前年超え。登録車は前年同月比6.7%増加と2ヶ月振りの前年超え、軽自動車は前年同月比で0.6%減少と2ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は9.8%増加と5ヶ月振りの前年超え

・アメリカの6月の全需は1,510千台で前年同月比2.8%減少と5ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同16.0%減少と12ヶ月連続の前年割れ

・欧州の6月の全需は1,671千台で、前年同月比7.6%減少と10ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同0.9%減少と2ヶ月振りの前年割れ

・中国の6月の全需は2,234千台で、前年同月比1.8%減少。マツダ車は同1.4%減少と14ヶ月振りの前年超え

・上記各地域の状況下、マツダ車の6月の海外販売合計台数は108千台、前年同月比10.4%減少と10ヶ月連続の前年割れ

・マツダの6月の輸出動向については、輸出台数は前年比2.5%減少と3ヶ月振りの前年割れ

・マツダの6月の国内生産台数は、前年同月比13.1%減少と3ヶ月振りの前年割れ

### ●輸送用機械器具（造船）

#### （一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

#### 中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の令和元年7月の船舶建造許可実績は3隻100,900総トン(前月3隻114,900総トン、前年同月5隻95,799総トン)であった。なお、内訳は国内船が1隻で全てが貨物船、輸出船は2隻で全てが貨物船であった。

## その他

### ●家具・装備品

#### 府中家具工業協同組合

組合員が1社後継者不在のため6月末で廃業した。

## 卸売業

### ●卸売業（総合）

#### 協同組合広島総合卸センター

全体としては、大型連休以降、停滞感があり、米中貿易摩擦や消費税率引上げ等の悪いニュースが重なり、停滞感が続いている。

「資材関連」においては、資材の値上がり分を販売先に転嫁できない状況にある。同業者の淘汰が進まず依然過当競争の状態である。

「雑貨」においては、メーカー等からの値上げ要請もあり、得意先への価格転嫁はタイムラグもあり苦戦している。

「食品」においては、夏場は売上が低迷。物流コスト上昇の影響もあり業績は引き続き厳しい。

「繊維」においては、夏物商品はバーゲン向け商品に力を入れざるを得ない状況で、収益環境は厳しい。近隣の商業施設との人材獲得競争により、中小企業は賃金コストが上昇。人手不足感も継続している。売上等の項目は一進一退で大きな変化はない。人件費、配送費、燃料費が上昇傾向にあり依然厳しい。

#### 協同組合福山卸センター

梅雨明けの遅延、米中貿易対応、日韓関係の悪化、消費税率引き上げなど経済の先行き不安材料が需要の停滞を起こしている。

#### ●卸売業（電設資材）

##### 広島県電設資材卸業協同組合

広島県5月の住宅着工状況は、前年比15.4%減少、内訳として持家は5.4%増加、分譲8.6%減少、貸家18.0%減少と、持家のみが増加中であり、消費税増税前の駆け込み需要ではないかと考えられる。

現在、学校空調設備工事が各地で施工されている中、工事が集中し資材不足が顕在化している。

#### ●卸売業（家具）

##### リビズ株式会社

店舗建てかえに伴い7月末で1店舗脱退した。

#### ●卸売業（畳・敷物）

##### 広島県藁製品商業協同組合

国産畳表の取引状況は、営業効果から堅調に推移している。前月より販売量が若干増加し、販売価格も安定している。

産地では、新草の収穫を終え倉庫での色づきが落ち着くのを待っている状況である。本格的に新草を用いた畳表の製織は、お盆以降の9月頃からとみている。

一方、中国産のい草は6月には刈り取りを終え、需要にあわせての製織、販売とみている。日本国内の需要動向にあわせ、価格や出荷が変動するものと思われる。国産表も中国産表もエンドユーザーの需要がカギとなる。

#### 小売業

#### ●各種商品小売業

##### 広島生鮮三品連絡協議会

前年は西日本豪雨及び酷暑の影響から出荷量が減少、相場も高値傾向であった。青果は前年より入荷が多いが、消費が伸びず相場安となっている。一方、果物、鮮魚は入荷が減少し相場高が続き、売上にも影響が出ている。

年度初めの値上げがある程度浸透したこともあり、消費者が低価格商品を求めて買い回るため、客単価が伸びていない。

消費税率引き上げを控え、消費者の財布の紐は固く、売上に影響がでている。

##### 協同組合三次ショッピングセンター

昨年は平成30年7月豪雨の影響で全体的に売上が減少したが、今年は過半数の店舗で売上が前年比増加となった。キャッシュレス決済をされるお客様が増加傾向にある。

#### ●家庭用電気機械器具小売

##### 広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比10.6%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比19.9%減少、冷蔵庫同7.7%減少、洗濯機同10.4%減少、IHクッキングヒーター同1.5%減少、電気温水器同10.3%減少、エアコン同3.2%増加となった。

#### ●その他の小売業（燃料）

##### 広島県石油商業組合

今月は価格上昇、価格変動ともに少なかったが需要の落ち込みが大きく、小売にとって運営面では厳しい状況にあった。また、京都アニメーションの放火事件の社会的影響も踏まえ、消防庁より、容器への詰め替え販売時における購入者の身元確認や使用目的の問いかけなどの徹底について依頼があった。農機具や船への給油のために購入者が多い時期ではあるが、業界全体で取り組んでいる。消費者にもご理解、ご協力をお願いしたい。

#### 商店街

#### ●商店街（各種商品小売業）

##### 呉本通商店街振興組合

7月20日、毎年恒例の呉中央地区商店街合同の土曜夜市が開催され、多くの来街者で賑わった。

#### サービス業

#### ●自動車整備業

##### 広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比0.2%増加、前年比20.4%増加

車検場収入は、前月比1.3%減少、前年比19.3%増加

重量税・登録印紙上は、前月比17.3%増加、前年比29.9%増加

#### ●広告業

## 広島県広告美術協同組合連合会

前年同月比では特に変化はない。オリンピックに向けサインの受注が一部でているが、全体的には減少の見込みである。

### ●警備業

#### 広島県警備業協同組合

人手不足が深刻である。

### 建設業

#### ●工事業

#### 広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、7月度は前月比19.6%減少、前年同月比39.8%増加、前年累計比18.7%増加となった。壁装は振るわなかったがカーテン、敷物は好況であった。

#### 福山地区電気工事業協同組合

- ・今月の工事受注件数は、前月比26.6%増加、前年比62.2%増加となった。
- ・内訳としては、新築件数と太陽光発電件数が増加している。
- ・消費税増税前の駆け込み需要による件数増加を期待している。
- ・今年度に入っても作業員不足は解消されず、益々深刻化している。

### 運輸業

#### ●道路貨物運送業

#### 松永地区トラック事業協同組合

7月の売上高、収益状況は前月比、前年同月比とも減少となった。毎年梅雨時期に売上が減少するが、今年はGW以降ずっと売上高、収益状況ともに前年比減少しており、原因は不明である。2月、8月は例年荷動きが悪いため来月も期待出来ない。10月の消費税率引き上げに向けて9月の駆け込み需要を期待している。

軽油価格は高止まりしている。

#### 広島輸送ターミナル協同組合

前月比で大きな変化はない。

前年同月比では全体的に荷動きが悪く、売上は減少傾向にあるが、運賃値上げが進んでおり、収益は改善した。

#### 協同組合尾道地区総合トラックセンター

7月の荷動きは、大きな変化はなかった。

燃料価格の動向は、落ち着きが見えてきたと思われる。

### ●水運業

#### 全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

### その他

#### ●不動産業

#### 広島県不動産評価システム協同組合

前月比・前年同月比ともに特に大きな変化はない。

8月は固定資産税標準宅地評価の時点修正率算定業務があるほか、国土交通省の地価公示評価作業が始まる。

地価は依然として平地の利便性の高い地域と山間傾斜地で価格が2極化（上昇・下落）している。建築関係は依然として人手・人材不足である。